



2020年1月6日

各位

会社名 株式会社ダイセキ
代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴
(コード番号 9793 東証・名証第一部)
問合せ先 企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-611-6322)

通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年1月6日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年4月4日の2019年2月期決算発表時に開示いたしました2020年2月期(2019年3月1日～2020年2月29日)通期の連結業績予想を修正することとし、またこれを踏まえて、同じく昨年4月4日に公表しました2020年2月期配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正について

① 2020年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 53,500	百万円 10,100	百万円 10,200	百万円 6,700	円 銭 156.68
今回修正予想 (B)	54,000	10,800	10,900	7,050	164.83
増減額 (B-A)	500	700	700	350	
増減率 (%)	0.9%	6.9%	6.8%	5.2%	
(参考) 前期実績 (2019年2月期)	51,313	9,107	9,199	6,110	142.90

② 修正の理由

当社グループの今年度は、国内工業生産が低迷する厳しい外部環境下ではありましたが、SDGsに象徴されるように世界的な環境意識の高まりを受け、当社グループの強みである信頼性の高いリサイクル技術、さらには緊急対応能力を背景としたシェアアップを図ることができました。なかでも、株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業は、産業廃棄物等の難処理物案件や災害対応への展開を積極的に進めるとともにリサイクルセンター等における業務効率化やコスト削減策を継続して推進した結果、受注処理単価が上昇し、稼働率が低かった一部リサイクルセンターも改善傾向となりました。これらにより、連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は上方修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。



2. 配当予想の修正について

① 配当予想の修正の内容

基準日	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2019年4月4日発表)		23円	46円
今回修正予想		33円	56円
当期実績	23円		
前期実績 (2019年2月期)	20円	26円	46円

② 修正の理由

当社は、株主各位への安定的な利益還元を基本としたうえで、業績に応じた配当の実施並びに株主還元を最重要課題として考えております。この基本方針に基づき、当期の業績状況および中期経営計画の進捗状況を鑑み、株主の皆様の日ごろのご支援に応えるべく、期末の1株当たりの配当予想を上方修正いたします。

以上